

## 資料①

令和元年10月31日  
埼玉県教育局文教政策室

- ① 高等学校等進学希望者の割合は96.9%で、前年度より0.1ポイント低下しました。  
(下表2行目)  
また、進学希望校未定者を合わせた高等学校等進学希望者総数の割合は99.2%で、  
前年度より0.2ポイント上昇し、過去最高となりました。(下表19行目)
- ② 全日制高校への進学希望者の割合は91.8%で、前年度より0.6ポイント低下しま  
した。(下表3行目)
- ③ 就職のみ希望する者の割合は0.1%で、前年度と同率でした。(下表14行目)

○令和元年10月1日現在の進路希望状況

区 分	令和元年10月1日現在		前年同期		前年同期との比較	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
1 中学校等卒業予定者数	63,093 人	100.0 %	64,010 人	100.0 %	△917 人	
2 高等学校等進学希望者	61,144 人	96.9 %	62,093 人	97.0 %	△949 人	△ 0.1P
3   全日制高等学校	57,895 人	91.8 %	59,177 人	92.4 %	△1,282 人	△ 0.6P
4    県内合計	54,111 人	85.8 %	55,609 人	86.9 %	△1,498 人	△ 1.1P
5     国立	195 人	0.3 %	163 人	0.3 %	32 人	0.0P
6     公立	44,945 人	71.2 %	46,961 人	73.4 %	△2,016 人	△ 2.2P
7     私立	8,971 人	14.2 %	8,485 人	13.3 %	486 人	0.9P
8    県外合計	3,784 人	6.0 %	3,568 人	5.6 %	216 人	0.4P
9   定時制高等学校	679 人	1.1 %	563 人	0.9 %	116 人	0.2P
10   通信制高等学校	1,307 人	2.1 %	1,114 人	1.7 %	193 人	0.4P
11   高専・中等教育・別科	157 人	0.2 %	139 人	0.2 %	18 人	0.0P
12   特別支援学校	1,106 人	1.8 %	1,100 人	1.7 %	6 人	0.1P
13   専修学校等進学・入学希望者	95 人	0.2 %	105 人	0.2 %	△10 人	0.0P
14   就職のみ希望者	93 人	0.1 %	92 人	0.1 %	1 人	0.0P
15   その他の者	1,761 人	2.8 %	1,720 人	2.7 %	41 人	0.1P
16    進学希望校未定者	1,418 人	2.2 %	1,306 人	2.0 %	112 人	0.2P
17    進路未定者	256 人	0.4 %	354 人	0.6 %	△98 人	△ 0.2P
18    上記以外の者	87 人	0.1 %	60 人	0.1 %	27 人	0.0P
19   高等学校等進学希望者 +進学希望校未定者	62,562 人	99.2 %	63,399 人	99.0 %	△837 人	0.2P
20   再掲 進学・入学希望者のうち 併せて就職を希望する者	20 人	0.0 %	14 人	0.0 %	6 人	0.0P

令和元年10月1日現在中学3年生の進路希望調査

資料②

10月1日現在の県内私立高校(全日制)の進学希望者の今年度、前年度との比較。注)併設附属中からの希望者を含む。

私立【令和元年10月1日】				中学在籍			私立【平成30年10月1日】				中学在籍		
区分	進学希望者			5月1日	前年度比較			区分	進学希望者			5月1日	
	男	女	計		男	女	計		男	女	計		
学校名				計				学校名				計	
聖望学園	86	60	146	45	-11	4	-7	聖望学園	97	56	153	43	
細田学園	79	57	136		3	7	10	細田学園	76	50	126		
浦和麗明	80	79	159		38	24	62	浦和麗明	42	55	97		
淑徳与野		234	234	120	0	3	3	淑徳与野		231	231	120	
慶應義塾志木	143		143		-11	0	-11	慶應義塾志木	154		154		
山村国際	26	75	101		-29	-29	-58	山村国際	55	104	159		
本庄第一	58	70	128	53	-4	9	5	本庄第一	62	61	123	33	
正智深谷	115	58	173		10	-8	2	正智深谷	105	66	171		
大宮開成	151	147	298	106	38	48	86	大宮開成	113	99	212	99	
叡明	97	108	205		-11	4	-7	叡明	108	104	212		
山村学園	76	107	183		0	-9	-9	山村学園	76	116	192		
本庄東	160	97	257	109	8	-9	-1	本庄東	152	106	258	115	
立教新座	295		295	208	0	0	0	立教新座	295		295	207	
武蔵越生	88	40	128		3	6	9	武蔵越生	85	34	119		
狭山ヶ丘	103	61	164	47	11	-6	5	狭山ヶ丘	92	67	159	68	
武南	108	65	173	26	5	-3	2	武南	103	68	171	22	
東京成徳大深谷	71	60	131	9	-4	-14	-18	東京成徳大深谷	75	74	149	11	
東邦音大附東邦第二	3	19	22		-1	-2	-3	東邦音大附東邦第二	4	21	25		
浦和実業学園	168	114	282	51	47	35	82	浦和実業学園	121	79	200	41	
星野	114	298	412	138	37	22	59	星野	77	276	353	140	
浦和明の星女子		176	176	176	0	0	0	浦和明の星女子		176	176	176	
大妻嵐山		76	76	41	0	3	3	大妻嵐山		73	73	30	
浦和ルーテル学院	14	41	55	33	-8	-1	-9	浦和ルーテル学院	22	42	64	56	
城西大学付属川越	122		122	79	8	0	8	城西大学付属川越	114		114	71	
埼玉栄	284	214	498	173	10	39	49	埼玉栄	274	175	449	124	
武蔵野音楽大附	2	4	6		1	-1	0	武蔵野音楽大附	1	5	6		
栄東	206	135	341	326	42	-10	32	栄東	164	145	309	299	
浦和学院	156	154	310		40	-3	37	浦和学院	116	157	273		
秀明	38	19	57	52	-20	-3	-23	秀明	58	22	80	78	
昌平	142	103	245	84	-26	-16	-42	昌平	168	119	287	76	
獨協埼玉	133	103	236	152	1	-21	-20	獨協埼玉	132	124	256	167	
春日部共栄	142	112	254	145	37	15	52	春日部共栄	105	97	202	117	
城北埼玉	131		131	114	6	0	6	城北埼玉	125		125	116	
西武台	126	102	228	30	-18	19	1	西武台	144	83	227	30	
秀明英光	40	19	59		-7	7	0	秀明英光	47	12	59		
西武学園文理	117	89	206	123	22	18	40	西武学園文理	95	71	166	104	
秋草学園		103	103		0	22	22	秋草学園		81	81		
早稲田大学本庄	165	148	313		-6	-6	-12	早稲田大学本庄	171	154	325		
花咲徳栄	110	123	233		14	7	21	花咲徳栄	96	116	212		
開智	221	169	390	338	-26	0	-26	開智	247	169	416	369	
開智未来	46	28	74	69	-7	-28	-35	開智未来	53	56	109	92	
川越東	191		191		1	0	1	川越東	190		190		
埼玉平成	88	45	133	8	3	2	5	埼玉平成	85	43	128	23	
東京農業大学第三	215	93	308	55	21	15	36	東京農業大学第三	194	78	272	59	
自由の森学園	78	61	139	89	33	5	38	自由の森学園	45	56	101	60	
東野	43	19	62		12	0	12	東野	31	19	50		
国際学院	52	31	83	8	19	1	20	国際学院	33	30	63	16	
栄北	108	64	172		33	26	59	栄北	75	38	113		
私立計	4991	3980	8971	3007	314	172	486	私立計	4677	3808	8485	2962	

## 東京都 公立小学校卒業者の進路状況推移

卒業年度	卒業者計	都内の中学校等への進学者								都外の 中学等 への進 学者	都外 (再掲) 中等教 育学校	その他
		計	公立	(再掲) 特別支援 学校中部	(再掲) 義務教 育学校	(再掲) 中等教 育学 校	国立	国立	私立			
								(再掲) 中等教 育学校				
平成元年度	127 956	125 676	110 794	124	…	…	458	…	14 424	2 173	…	107
2	121 165	118 870	103 488	127	…	…	453	…	14 929	2 187	…	108
3	116 950	114 776	98 650	133	…	…	440	…	15 686	2 074	…	100
4	109 331	107 191	90 889	121	…	…	452	…	15 850	2 043	…	97
5	107 229	105 057	88 997	119	…	…	418	…	15 642	2 082	…	90
6	105 977	103 723	87 594	114	…	…	383	…	15 746	2 145	…	109
7	104 646	102 462	86 494	105	…	…	404	…	15 564	2 062	…	122
8	101 853	99 832	83 916	112	…	…	396	…	15 520	1 911	…	110
9	98 188	96 317	80 774	135	…	…	410	…	15 133	1 758	…	113
10	94 377	92 595	77 555	128	…	…	386	…	14 654	1 687	…	95
11	92 844	91 048	76 064	140	…	…	415	…	14 569	1 695	…	101
12	92 360	90 585	75 371	157	…	…	387	40	14 827	1 642	…	133
13	87 649	86 120	71 585	145	…	…	375	33	14 160	1 416	…	113
14	87 010	85 302	70 446	128	…	…	398	23	14 458	1 581	1	127
15	87 954	86 302	71 066	156	…	…	399	34	14 837	1 530	2	122
16	87 588	86 007	70 628	160	…	…	414	23	14 965	1 446	6	135
17	88 999	87 361	71 732	166	…	319	382	30	15 247	1 494	25	144
18	93 829	92 091	75 477	162	…	300	343	37	16 271	1 604	39	134
19	90 356	88 809	72 507	207	…	389	377	47	15 925	1 426	28	121
20	92 771	91 083	74 553	182	…	391	333	40	16 197	1 547	28	141
21	93 198	91 457	75 490	197	…	639	353	54	15 614	1 584	20	157
22	94 949	93 131	77 177	195	…	913	410	85	15 544	1 663	21	155
23	94 787	93 067	76 980	193	…	909	432	71	15 655	1 558	40	162
24	95 149	93 465	77 586	202	…	914	377	70	15 502	1 540	29	144
25	94 570	92 815	77 399	176	…	905	417	86	14 999	1 608	25	147
26	93 868	92 273	76 492	142	…	912	395	63	15 386	1 449	30	146
27	93 986	92 461	76 078	143	513	909	446	84	15 937	1 370	18	155
28	91 979	90 465	74 400	137	146	909	439	64	15 626	1 384	26	130
29	90,297	88,781	72,095	132	224	906	413	67	16,273	1,393	21	123
30	94,580	93,004	75,598	137	256	1,370	453	58	16,953	1,423	25	153

1 昭和26年度は、「都外の中学校(部)への進学者」の調査をしてな。

2 昭和28年度の「その他」は、「都外の中学校(部)への進学者」の欄に含まれている。

3 昭和26年度から昭和34年度まで、「都内の公立中学校への進学者」のうち「特別支援学校中学部」の調査は実施していない。

受験生をはじめとした高校生、保護者の皆様へ

文部科学大臣の萩生田光一です。皆様に、令和2年度の大学入試における英語民間試験活用のための「大学入試英語成績提供システム」の導入を見送ることをお伝えします。

大学入試における英語民間試験に向けて、今日まで熱心に勉強に取り組んでいる高校生も多いと思います。今回の決定でそうした皆様との約束を果たせなくなってしまったことを、大変申し訳なく思います。

英語民間試験を予定通り実施するかどうかに関しては、高校生をはじめ多くの皆様から、賛成・反対、様々な意見をいただきました。

私としては、目標の大学に向けて英語試験の勉強を重ねている高校生の姿を思い浮かべながら、当初の予定通りのスケジュールで試験を実施するために、連日取り組んできました。

しかし、大変残念ですが、英語教育充実のために導入を予定してきた英語民間試験を、経済的な状況や居住している地域にかかわらず、等しく安心して受けられるようにするためには、更なる時間が必要だと判断するに至りました。

大学入試における新たな英語試験については、新学習指導要領が適用される令和6年度に実施する試験から導入することとし、今後一年を目途に検討し、結論を出すこととします。

皆様が安心して、受験に臨むことができる仕組みを構築していくことをお約束します。

今回、文部科学省としてシステムの導入見送りを決めましたが、高校生にとって、読む・聞く・話す・書くといった英語4技能をバランスよく身に付け、伸ばすことが大切なことには変わりありません。

グローバル化が進展する中で、英語によるコミュニケーション能力を身に付けることは大変重要なことです。皆様には、これからも日々の授業を大切にするとともに、それぞれの目標に向かって努力を積み重ねて頂きたいと思います。

令和元年11月1日

文部科学大臣 萩生田光一